

コンテナ物流による経済効果を問う

市と県の経済に大きな波及効果が

議員 RORO船の寄港に関するその後の動向は。

市長 震災以前に釜石港に就航していたRORO船は、完成自動車輸送のみを扱う航路として運航していたが、震災直後より中断しており再開を要請してきていた。コロナ禍の合間を縫って、昨年11月にトヨタ車両物流部に対するトップセールスが叶い、釜石港の利用再開に向けた検討指示が出されることとなった。今後とも関係企業と連携を図りながら、完成自動車物流の早期再開に向けて取り組む所存である。

議員 経済効果の試算とコンテナ事業の見通しについて。

産業振興部長 国土交通省が5年毎に実施している全国輸出入コンテナ貨物流動調査の平成30年度調査結果をもとに、県内を発着地とするコンテナ貨物の内容と利用港湾に関するデータベースを構築し、岩手県産業連関表を用いて分析した。市内製造業や卸売業などの日々の商取引で発生する需要に関わる生産額と、これらに誘発される原材料等の生産額、加えて従業者の個人消費について港湾コンテナ

航路の利用に起因して誘発されたものを導き出した。結果は、市総生産の8.7%（年間165億円）、1794人の雇用創出（市就業人口の10.2%）、8億円の市税収入（総額45億円の17.8%）。釜石港のコンテナ定期就航による物流事業は、既に市のみならず県経済にも大きな経済波及効果を及ぼしてきている。

品の輸出や飼料原料、石炭の輸入を主に取り扱ってきた。震災以降本格的にコンテナ物流に取り組み、その結果、令和3年には105社の利用となった。これまでに物流拠点化が進展してきているが、県内に留まらず県外からも貨物が集積する

ような魅力ある港湾であるために引き続き尽力する。
産業振興部長 子どもたちへの釜石港のPRについて、令和4年度更新の副読本に掲載予定である。釜石港を拠点とした「物流のまち」による発展の意義について学んでほしい。

調査の平成30年度調査結果をもとに、県内を発着地とするコンテナ貨物の内容と利用港湾に関するデータベースを構築し、岩手県産業連関表を用いて分析した。市内製造業や卸売業などの日々の商取引で発生する需要に関わる生産額と、これらに誘発される原材料等の生産額、加えて従業者の個人消費について港湾コンテナ

航路の利用に起因して誘発されたものを導き出した。結果は、市総生産の8.7%（年間165億円）、1794人の雇用創出（市就業人口の10.2%）、8億円の市税収入（総額45億円の17.8%）。釜石港のコンテナ定期就航による物流事業は、既に市のみならず県経済にも大きな経済波及効果を及ぼしてきている。

議員 釜石港開港90周年に向けて意義を伺う。
市長 令和6年に開港90周年を迎える釜石港は、県内一番に開港されて鉄鋼製



コンテナ航路の更なる発展に期待



平野 弘之
(清和クラブ)

質問項目

- ・コロナ禍を踏まえたコンテナ物流について
- ・釜石港公共ふ頭におけるRORO船寄港に関するその後の状況について
- ・ゼロカーボンシティ推進室の設置について